ヒトラー選挙戦略

小粥義雄『ヒトラー選挙戦略』(1994)を読む 2005.8.27

札幌たのしい授業・研究サークル用レポート 仮説実験授業研究会・北海道・丸山秀一 [C]Maruyama Shuichi



当時,自民党東京都支部連合会事務局の広報部長だった小粥義雄さんが出版した『HITLER(ヒトラー)選挙戦略 現代選挙必勝のバイブル』(「ヒトラー政治戦略研究会」編集,千代田永田書房発行,A5,八ードカバー)という本があります。本の帯には「多彩な実戦活動を通して到達した混迷時代の選挙必勝法を伝授します。いつの時代でも,選挙勝利の道はただひとつ・・・」と書かれています。この本の内容は,各章毎にアニメ化されたヒットラーとデザイン化された「かぎ十字」とともに,ヒットラーの言葉が取り上げられており,「ヒットラーから選挙戦略を学ぶ」という体裁になっています。

【問題】

この本が出版されたのは, 自民党にとってどういう時期 だったと思いますか。

- ア 自民党単独政権時代
- イ 自民党連立政権時代
- ウ 非自民連立政権時代



自民単独政権の崩壊

1993年8月、それまで38年間続いた自民党単独政権は崩壊し、 45年ぶりとなる非自民の連立政権(日本新党・公明党・社会民主連合・新生党・新党さきがけ・日本社会党・民社党)で細川内閣 (党首は日本新党)が誕生しました。翌年4月には、細川内閣は 総辞職し、羽田内閣(党首は新生党)ができましたが、その同時 期(1994.4)にこの本は出版されました。つまり、政権を失い野 党となった自民党の危機感がこの本を誕生させたと考えられます。

【問題】

しかし,この本は発行後二ヶ月で絶版・回収となりました。それはどうしてだと思いますか。

- ア 自民党の秘密を公開してしまったから
- イ 他の党から抗議があったから
- ウ ユダヤ団体から抗議があったから
- エ そのほか

絶版の理由

この本は自民党内だけでなく,羽田首相の新生党を始め,当時 の政権与党の日本新党や社会民主連合にも好評だったといいます。 でもこの本を許せない人たちがいました。それはナチスによって 迫害を受けたユダヤの人々でした。

イスラエル大使館は「この本はヒットラーを正当化しすぎている」として、自民党に強く抗議し、ナチス戦争犯罪を追求している米国にあるユダヤ人組織の「シモン・ヴィーゼンタール・センター(SWC)」は、日本大使館に出版停止を求める抗議文書を送りました。この問題は、「ニューヨーク・タイムズ」や「ワシントン・ポスト」にも取り上げられ、国際問題化しだしたので、著者と自民党と出版社は、絶版と回収を決めたのでした。

SWC は , その後日本のメディアに対して監視を強め , 翌年には「ナチ ガス室 はなかった」という記事を載せた雑誌『マルコポーロ』を廃刊に追い込んだりしています。

【問題】

この本は,ユダヤ団体から抗議を受けるほど,ヒットラーを肯定しているのでしょうか。この本の編者である「ヒトラー政治戦略研究会」は,この本の巻頭で「ヒットラーやナチスに対する歴史的評価」について触れていますが,どう書いていると思いますか。

- ア 明確に肯定している
- イ 明確に否定している
- ウ どちらでもない

「歴史的評価は、せず」

「ヒットラーは現代選挙に重要な教えを私たちに示している。 それは,統一したイメージマーク,マスメディアを駆使した宣伝 攻勢,大衆に焦点を当てたイベント展開など」

「大衆の側に立って,大衆の声を聞き,大衆の心に訴えた政治手法は,混迷の時代,大衆文化時代の今日, ピタリ とあてはまる政治戦略。 黒か白か,敵か味方かをはっきりさせ,敵と徹底的に戦う政治戦略 は選挙と同じ」

このようにヒットラーの業績を評価しながら「ヒトラーの残した独裁政治,ユダヤ問題など歴史的評価は後世に譲る」として「負の面」についての評価は一切を避けています。

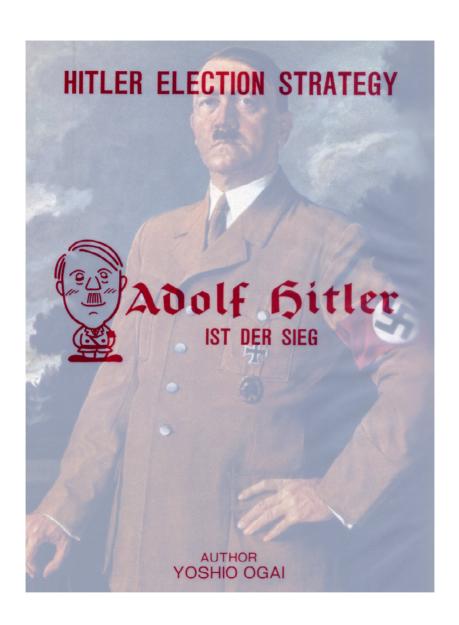
しかし,一面を使ったヒットラーの肖像や,在所に登場する「かぎ十字」とアニメ化されたヒットラー,さらにカバーを外すとそこには,まさしくナチスの「かぎ十字」が刻印され,肖像の前のページには,大きくドイツ語で「アドルフ・ヒットラーこそ,勝利」と書かれています。

【問題】

著者は「選挙必勝法は,ただひとつ」と述べています。それは なんだと思いますか。

予想

ア 宣伝 イ 資金 ウ 人間性 エ 信念 オ そのほか



「選挙必勝法」

著者は「選挙必勝法はただひとつ,強い信念を候補者が持つことである」と述べています。それはどういうことなのでしょうか。 本の内容を見ていきましょう。

この本は、

「内面的に十分成熟した人間が政治的指導に参加すべきである」 ヒットラー

のように,章ごとにヒットラーの言葉があります。このレポートでも,同様にヒットラーの言葉を入れておくことにします。

【問題】

「信念が固いほど人は強い人物と評価します。だからこそ 必ず勝つ の立候補の決意は選挙必勝の上で,一番大事なスタ ート」と書かれています。そして「立候補の要件」として5つあ げています。そのうち4つは「資金」「健康」「支持母体」「自分の

評価」ですが,もうひとつはなん だと思いますか。

- ア 忍耐力
- イ 所属政党
- ウ 家族の結束
- エ 崇高な動機
- オ そのほか



家族の結束

それは「家族や友人の結束」です。「立候補すれば,家族や友人 も有権者から厳しい目で見られる。こうした視線に家族が耐えら れずに立候補を断念する例が少なくない」そうなのです。だから 「家族の覚悟も必要」というわけです。

さらに「親族は表に出てはいけない。後援会員の下僕として働き,後援会員への感謝を絶やさないように」とのことで,家族は大変そうです。

「親族だからといって得するやつがいてはいけない」とットラー

【問題】

著者は「支持拡大のため立候補時に一番重要なもの」をなんだとしていると思いますか。

予想

- ア 風評
- イ 立候補動機
- ウ スローガン
- エ そのほか



SWC □ゴ



立候補の動機

著者は「政治改革 ふれあいの政治 などのスローガンも大事であるが、それだけでは有権者を説得できない」として、「人々が 共感できる立候補の動機が重要」としています。

「巨大な闘争のために必要な意義と力を得るためには,新いし世界 観が必要だ」とットラー

【問題】

明確な立候補動機でも,有権者を説得できなかったときは,ど うしたら良いでしょうか。著者はどう書いていると思いますか。

- ア 説得できなかった相手は放置
- イ 説得できなかった相手は抹殺
- ウ 様々な方法で説得を続ける

賛同者を増やす

著者は「一人が反対したら,三人の賛成者を生む」として,「ひとりがダメなら,新たに三人の支持拡大をめざす」という方策を示しながらも,「反対者は放置すると敵への投票者となるから,抹殺すべき」としています。「抹殺」とは「反対派にならないように反対者の政治力や政治への関心を減退させる」という政治用語のようです。

「私はいかなる手段もためらいはしない」 戦争を遂行するのは 私なのだ,ヒットラー

「説得の方法」については,次のように述べています。「人間は争うことが大好き。戦う信念を前面に出し,信じた道を一直線に貫く。必ず勝つことを頭にたたき込む。堂々と正論を訴えれば道は開ける」

なにやら現実の政治家が頭に浮かびますが、これは仮説実験の 論理では全くありません。かつて、ナチスのゲッベルス宣伝大臣 が言った「大衆は小さな嘘よりも大きな嘘に魅力を感じる」「嘘も 百万遍言えば真実になる」といったことを思い起こさせます。

【問題】

著者は後援会という組織の目的をどう考えていたと思いますか。

予想

ア 支持者拡大,イ 運動員獲得,ウ 資金獲得,エ その他

後援会と「親衛隊」

「後援会には 名前を書いただけ の意識の低い人もたくさんいるから、後援会をもっと支持拡大としてはならない。支持拡大は、宣伝による」としています。では後援会の役割はなんなのでしょう。それは「後援会は 親衛隊=戦う中核部隊の運動員 を獲得するのが目的。親衛隊が候補者の代理となり選挙運動を展開する」とのことです。そして「親衛隊」には、「候補者と同じように支持者拡大の最先頭に立たせる。候補者の主張をオウム返しで繰り返させる。批判に対しては攻撃的な弁護をさせる。候補者と同じ信念で有権者に接触させる。すべてをなげうって当選のために戦わせる」のだそうです。また「親衛隊と名乗る必要はない」ともあります。

「組織の課題は党員を獲得することである」

「いかなる運動も支持者と党員に選り分けねばならない」とットラー

【問題】

選挙となれば、ポスターやパンフレットがつきものです。では ポスターやパンフレットの最も重要な役割は何だとしているでし ょうか。

- ア 知名度アップによる支持拡大
- イ 後援会の志気高揚
- ウ そのほか

宣伝の役割

「どんなによいポスターでも有権者に投票行動を起こすものに はならない。むしろ後援会との軋轢にならないように配慮をすべ き。ポスターやパンフレットは、掲示や配布の過程で後援会の志 気を高めるもの」つまりは、「自分たちの志気を高めるのが一番の 役割」としています。

「選挙運動には,後援会での大衆討議が必要。みんなが参加し ているという意識が大切」「宣伝は人を獲得するもの。その内容よ りもその活用が大切。宣伝でまず後援会員を動かす」

> 「宣伝の第一の任務は組織のために人を獲得することである」 **とットラー**

【問題】

著者が「宣伝の対象」として最も重視するのは、どんな人たち だと思いますか。

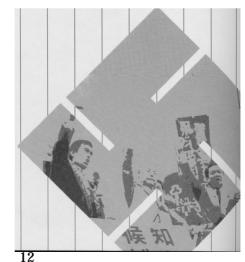
予想

ア 若者

イ 無党派層

ウ 女性

エ そのほか



女尊男卑

著者は「女性は 24 時間地域密着で周りの人々への影響力が大きい。またスキャンダルにも敏感に反応するなど感情的」として、選挙では「男女同権」や「男女平等」ではなく、徹底した「女尊男卑」を主張しています。かくしてこの本にも、「かわいいヒットラーのイラスト」が多用され、宣伝の言葉には「愛、誠、夢」が多用されます。「女性の支持は、愛があればさらに進む。女性に頼りにされている実感を持ってもらい、母性本能を発揮してもらう。また女性は候補者に安らぎも与えてくれる」

「女は本物の楽天家で人生の英雄だ」ビットラー

【問題】

では,立候補者には演説がつきものです。著者は「演説」の重要な目的はなんだといっていると思いますか。

- ア 後援会の志気高揚
- イ 支持者の獲得
- ウ 運動員の獲得
- エ そのほか



演説の重要性

「演説は聴衆に理解してもらうことが大事だが,ただ理解してもらっただけで,運動に参加してくれないのでは,なんの益もない」ということで「相手を動かすことが目的」なのだそうです。 「演説は上手下手よりも,毎日繰り返すことが重要。自分をありのままに出す」「人を説得するときは明るいところではあまり効果がない。照明や音響などの演出が必要」

「偉大な歴史的な誰を起こした力は,永遠の昔から語られる言葉の 魔力だけだった,ヒットラー

【問題】

著者は「候補者は,クリーンでなければならない。誠実な人柄で,真面目な生活態度,幸福な家庭,人から後ろ指をさされない人間でなければならない。しかし,そのような人間はいないし,国会には到底住めない」といいます。では,候補者は日常生活でどうすべきと言っているのだと思いますか。

- ア 表と裏の使い分け
- イ 可能な限り清貧に
- ウ 普段のままでよい
- エ そのほか

候補者の日常生活

著者は「候補者はスターであるから,演技力が必要である。金 持ちは貧乏の演技を,貧乏人は金持ち(選挙資金が潤沢にある) の演技を」として,「表では誰よりも清貧な生活(食事,服装,ク ルマなど,贅沢と思われないように)をして,真面目な人柄と思 われるように,誠実な行動をとる」ことをすすめています。

「闘争の年月の間,結婚生活を導(という責任は引き受けられない」 ヒットラー

【問題】

選挙には莫大な資金が必要です。では元手のない候補者は,おもにどうやって資金を調達するように書いてあるでしょうか。

- ア 大口寄付に頼る
- イ 後援会会員にカンパを募る
- ウ イベントで集める
- エ そのほか



きれいな資金

「単なる支持者と運動員を区別する」というとおりに,資金の面でも「運動員には金を出させる。参加する意識で金を出すほど熱心になる」というように,「会費を支払わせ,機関誌を有料購読させ,カンパを募る」わけです。

また「グッズ販売,旅行会,芸能イベント,盆踊り大会,ゴルフコンペなどを企画して収益を上げる」とも書かれています。「こうやって集めた金は,もともとが自分のカネではないから,ケチらずに有効に使える」というわけです。

しかし資金集めには,大きな問題点があります。それは「政治 資金規正法」で,「1000円以上の政治資金は出所を明確にしてお かなければならない」とのことです。

「私には財産も現金もありません」とットラー

【問題】

選挙には選挙違反がつきもののようです。では著者は「警察との関係」についてどう書いていると思いますか。

- ア警察は味方
- イ 警察は敵
- ウ 警察は利用するもの

「警察は味方ではない」

著者は明確に「警察は味方ではない」としています。それは「公職選挙法があり、それは警察権力の考え方ひとつで、だれでも犯罪者にできる悪法だからだ」ということです。

たとえば公職選挙法では「選挙運動は告示の日から投票日の前日までしかできない」ということになっています。この「選挙運動」の定義がハッキリしないため、選挙期間外の活動を「選挙運動をした」として、逮捕されることもあるという話なのです。「後援会事務所でジュースをもらった」なども「供応」とされることもあるようです。

また著者は「演説集会などの警備などで警察力に頼ることも, 有権者の信頼をなくすので良くない」としています。

「警護を警察に頼るような集会は,大衆の目から見れば信用を落と す,とットラー

【問題】

いざ警察が捜査に着手したら、どうしたらよいのでしょうか。 まずやるべき事は何だとしていると思いますか。

- ア 警察幹部などを通して圧力をかける
- イ 証拠隠滅
- ウ 弁護士通じて抗議
- エ そのほか

捜査の着手

「まずは押収物をなくすこと。家宅捜査の前に如何に証拠隠滅をはかるかが勝負。日程,会計帳簿,組織図,名簿類などの証拠 隠滅を,自分一人で実行する」

「自分一人で」というのは、「自分さえ口を割らなければ済むことだから」ということだそうです。また「警察の取り調べに対抗するためにも強い意志が必要」ということです。

【問題】

自分ではなく,運動員が警察に呼び出された場合は,どうした らよいとしていると思いますか。

- ア その運動員との関係を抹消する
- イ すべての罪をその運動員にかぶってもらう
- ウ その運動員を全力で応援する
- エ そのほか



運動員への激励

著者は「呼び出された運動員を全力で応援する。孤立化させない」としています。それはなによりも「運動員に警察に迎合した供述をさせないため」ですが,次のようなメリットも考えられるでしょう。

豊田泰弘さんが学級経営について「ギャラリー効果を考えよう」 というレポートを書いています。問題を起こした子への担任の対 応をクラス全員が注目しているのと同様に,警察に呼び出された 運動員への候補者の対応を支持者は注目しているわけです。

また著者は「警察幹部に知り合いがいても助けにならない」と も書いています。

【問題】

著者は「選挙に関する世論調査」も分析しています。私たちも 一緒に、有権者が求めているものを考えてみましょう。

東京都選挙管理委員会は選挙ごとに選挙に関する世論調査を実施しています。では,前回 2003 年の衆院議員選挙についての結果を見ていきます。

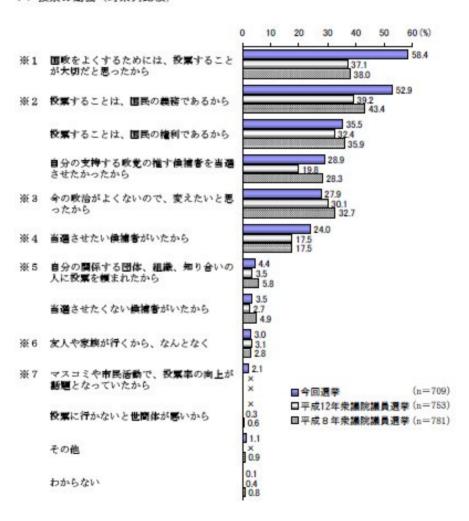
まず、「投票の動機」として一番多いのはなんだと思いますか。

- ア 投票は国民の権利・義務
- イ 当選させたい候補者がいる,投票を依頼された
- ウ 国政を良くする,政治を変えたい
- エ そのほか

政治参加と義務

投票の動機は「支持政党や支持する候補者」よりも「国政への参加」「政治を変えたい」や「投票は国民の権利・義務」とするひとが多いようです。

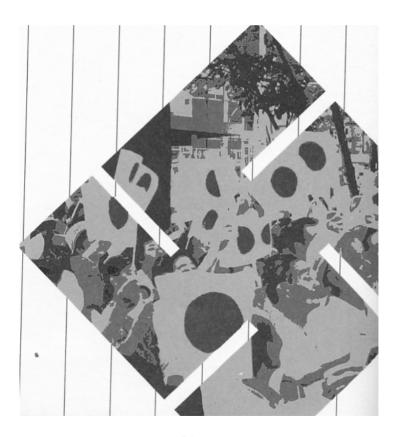
7>投票の動機 (時系列比較)



【問題】

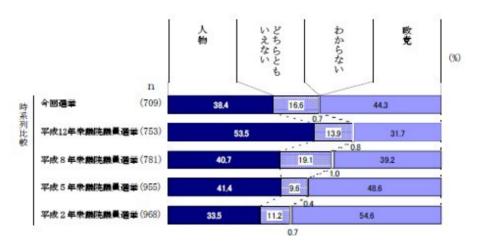
有権者は「人物」と「政党」のどちらを重視して投票している のでしょうか。

- ア 人物
- イ 政党
- ウ どちらともいえない



投票した候補者の選定基準

<図表3-11>投票した候補者の選定基準(時系列比較)



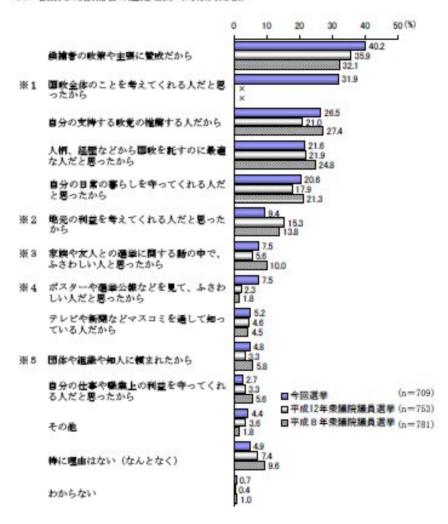
【問題】

有権者はどういう点で候補者を選んでいるのでしょうか。一番 重視しているのはなんだと思いますか。

- ア 政策,主張
- イ 支持政党の推薦
- ウ 人柄,経歴
- エ 地元や仕事上の利益

投票した候補者の選定理由

-14>投票した候補者の選定理由(時系列比較)



【問題】

投票した有権者はどんな政策に期待していたのでしょうか。一番多かったのは、なんだと思いますか。

- ア 景気対策
- イ 行財政改革
- ウ 年金改革
- エ そのほか



選挙の際に期待した政策



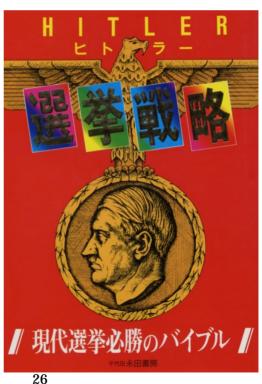
「何を期待しているかは」その選挙で「何が争点となっているか」で大きく異なります。1996 年の選挙の時は「税制改革」が41%でトップ,1993 年の時は「政治改革」が63%でトップでし

た。

【問題】

有権者が「候補者の選定に役立った媒体」として,一番多く選 んでいるものは,なんでしょうか。

- ア 選挙公報
- イ テレビやラジオの報道
- ウ 新聞や雑誌の報道
- エ 候補者の演説
- オ そのほか



候補者選定の際に役立った媒体



有権者が主にテレビから影響を受けているのが分かります。「候補者の連呼」で投票を決める人は 2% 「電話による依頼」では 1%以下しかいません。しかし , それらの活動は運動員にとって , わ

かりやすくやりがいのあるものなのです。

(本レポートにあるヒットラーとかぎ十字のイラストは, 『HITLER(ヒトラー)選挙戦略』からのコピーです)

あとがき

ヒットラーの『わが闘争』についてのレポートを書いているときに、この本のことを知りました。絶版回収本ということで入手はできないと思っていたのですが、運良く入手することができました。そしてすぐに、ナチスに対する歴史評価や、ちりばめられたヒットラーなどのイラストにびっくりしました。そして読んでいくと、どうも現実の政治家たちが思い出されてなりませんでした。

『わが闘争』についてのレポートを読んでくれた,仮説社の竹内三郎さんとお話ししているときに,この本の話題となって,「ぜひ読みたいから,なんとか入手して欲しい」と本探しを依頼されました。そして,またまた幸運にも,すぐに入手することができました。

郵政民営化問題で衆議院が解散となり、選挙が近づくにつれ、「候補者側は選挙をどう見ているのか」ということを選挙前にこの本でまとめたくなり、書いたのがこのレポートです。「選挙についての世論調査」のところは、グラフを書き直したかったのですが、時間が無くて、そのまま使いました。

民営化問題で国会が揺れているとき,ある議員は「民主主義なんだから,多数意見に従うべきだ」という発言をしていました。

しかし、ヒットラーも民主主義の手法により、圧倒的得票で独裁者となったのです。「ヒットラーについて学びたい」と改めて思っています。

丸山秀一 kasetsu.maruyama@nifty.com

典拠文献

- ・ 小粥義雄著, ヒトラー政治戦略研究会編『HITLER(ヒトラー) 選挙戦略』千代田永田書房, 1994
- 日本に圧力をかけるシオニスト組織「SWC」
 http://inri.client.jp/hexagon/floorA4F ha/a4fhc600.html
- ・ 東京都選挙管理委員会「選挙に関する世論調査 2004 年 11 月実施衆院議員選挙」2005

参考文献

- ・ アドルフ = ヒットラー『わが闘争』上下巻,平野一郎・将積 茂訳,角川文庫,1973
- ・ 平井正『ゲッベルス』中公新書, 1991
- 丸山秀一「『わが闘争』を読む」レポート、2005
- Simon Wiesenthal Center http://www.wiesenthal.com/
- ・ 映画「国会へ行こう!」東宝,1993, 著者が制作に参加,出演。 この映画 は,なかなかおもしろい。

